

Aさん(43)の症状は「下半身の疼痛」。場所が場所だけに、人にも相談できない。1人耐えているうちに、なんとなく慢性化してしまった。場所が場所だけに、心配だ……。

下半身の疼痛

うに、「決してシャープではない、鈍痛のような不快感」が漂うようになった。

この「時世、彼の勤務する会社(中堅商社)も、人減らしの影響で空虚な忙しさが続いている。上からの圧力は日増しに強まり、Aさんのストレスだけが右肩上がりだ。下半身の症状が表れたのも、そんな中でのことだった。

「以前は慢性前立腺炎と診断されることも多かったのですが、最近では陰のうと肛門の間の奥のほ

は慢性骨盤痛症候群という診断名が付くようになりました」と語るのは、東京・飯田橋にある飯田橋中村クリニックの中村剛院長。背景にはストレスが存在するという。

「ストレスの影響で血流が悪化する」とは知られていますが、それが骨盤内でおきることになった症状になることがある。

骨盤内で血流悪化し炎症も

「ストレスの影響で血流が悪化する」とは知られていますが、それが骨盤内でおきることになった症状になることがある。

部分的に炎症を起していることもありますが、炎症がなくても症状は出ます」

人減らしで空虚な忙しさ 陰のうと肛門の間が……

炎症があれば抗炎症剤が効果を示すが、Aさんの場合は、デスクワークという点も症状の発現に関係しているという。

「長い時間座っていると、特に腰回りの血流が悪くなるので症状が出やすくなる。仕事の合間に立ち上がり、腰を回すなどの軽い運動をす

手を当ててきこちなく腰を回す彼の姿が女子社員らに目撃されている。その恥じらいをたたえた表情を見ると、彼女たちも「見てはいけないものを見てしまった」という思いに苛まれ、心の中で「ごめんさい」と謝ってしまうという。

「いずれにしても、すぐに命にかかわるような病気じゃないんだから、もう少し気楽に考えたほうがいいと思いますよ。」

(長田昭二)

今日のストレス

明日の病気



イラスト・メンボ田宮文明

クイズ・日本人 解答

第壹問の正解は「寒天」 箱に作りた食品サンプルの食物の食材を入れ、溶かした寒天を流し込んで冷やし固めた後、食物を取り出して型を作る。

第貳問の正解は「蠟(ろう)」。現在の食品サンプルは、シリコン型に樹脂を流し込んで加熱するという作り方が多い。

第参問の正解は② 湯の中に流して作った薄くのびた蠟の葉を取り出し手で丸め、その上から同じ要領で作ったものを重ねて作っていく。

第四問の正解① 「sizzle」と書き、語源はステーキを焼く際の「シューシュー」という音。